

## 評価の結果に対する対応方針

### (事後評価)

#### ① ゴミゼロ型・資源循環型技術に関する研究

評価結果を踏まえ、本研究を構成する各研究の整合性をとるために、プロジェクトリーダーのもと、各研究担当者により、研究のめざす目標、大枠についてあらためて議論を深める。このなかで、成果が不十分である研究についてはさらに研究を深め、またすでに政省令、マニュアル、基準など一定の成果をあげている研究についてはさらにそのフォローアップ、関連分野への研究成果の応用を図って参りたい。

具体的には、廃棄物の発生と処分を結ぶ静脈物流ネットワークについて、その需要予測、海上輸送ルートの配置、輸送コストの削減効果など対象廃棄物の種類をより増やして引き続き研究を行う。また海面処分場の社会的受容性については陸上の処分場、海外における廃棄物処分場の事例などについて追加調査を行うほか有明海における住民意識調査に関する分析を深める。

#### ② 東アジアの航空ネットワークの将来展開に対応した空港整備手法に関する研究

評価結果を踏まえ、国際空港市場での空港間競争の影響評価や、より適切な国際空港旅客変化予測について、今後も継続的かつ適切に分析できるように、国際空港ネットワークに関するデータベースの拡充（公表を含め）を図りつつ、国際航空旅客変化予測モデルの改良や研究内容の充実に取り組んで参りたい。

また、定期的にフォローアップを図り、状況に応じ、我が国の国際空港の整備や運営のあり方に関する提言を行って参りたい。

その他、御指摘いただいた事項についても、十分に念頭に置いた上で、今後の研究を進めて参りたい。